

令和6年度 日本赤十字豊田看護大学キャンパスライフ 大学院アンケート結果

【調査対象】 後期に在籍する大学院生

【調査方法】 Microsoft Forms を使用した自記式アンケート調査（無記名）

【実施期間】 令和7年2月28日（金）～3月14日（金）

【回答率】 大学院生 32.0%（修士課程 35.0%・博士課程 20.0%）

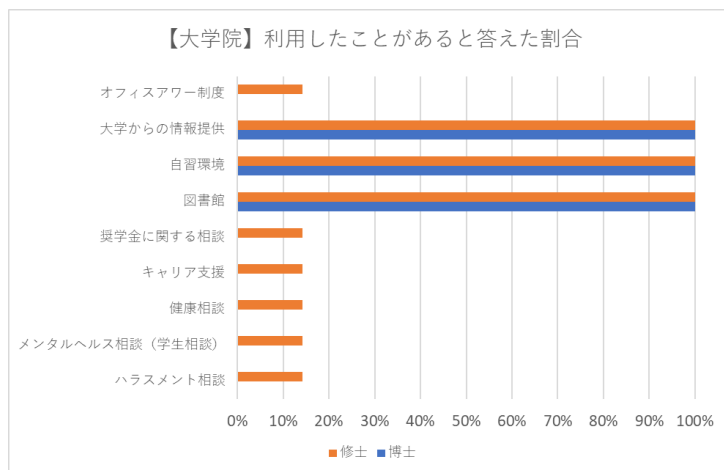
（1）アンケート結果の要約

①大学院生の結果と課題

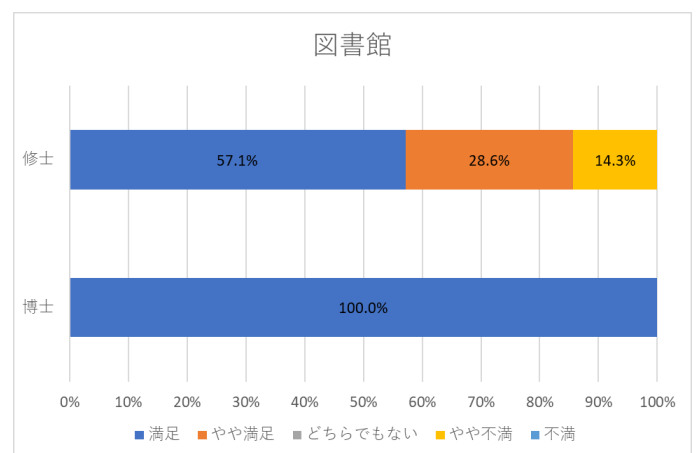
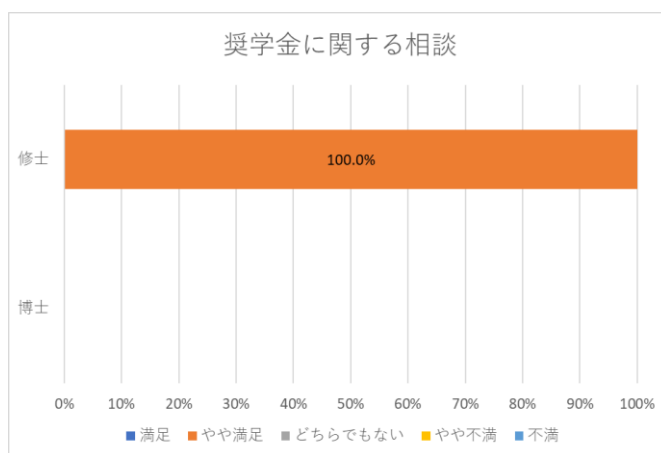
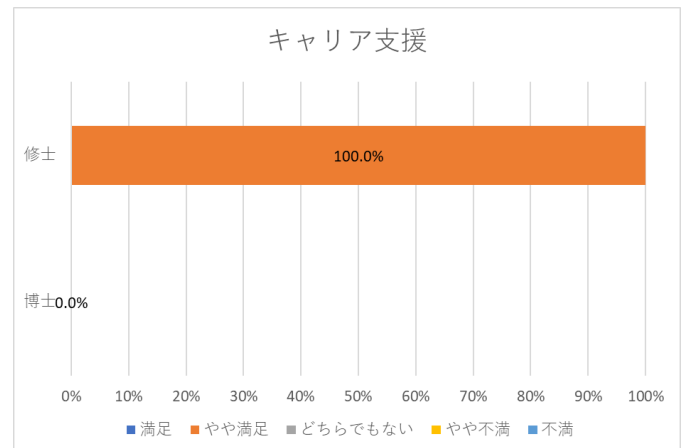
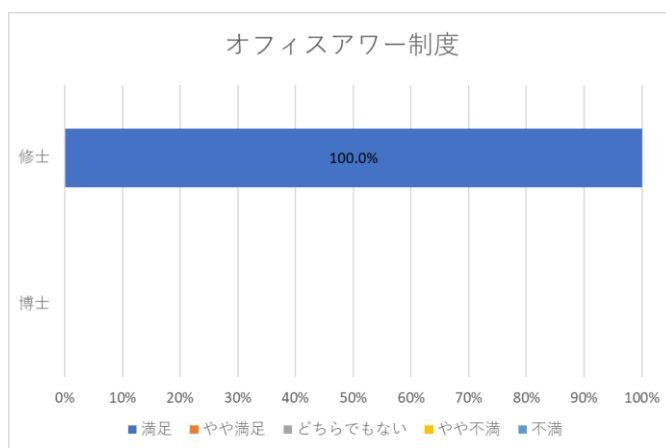
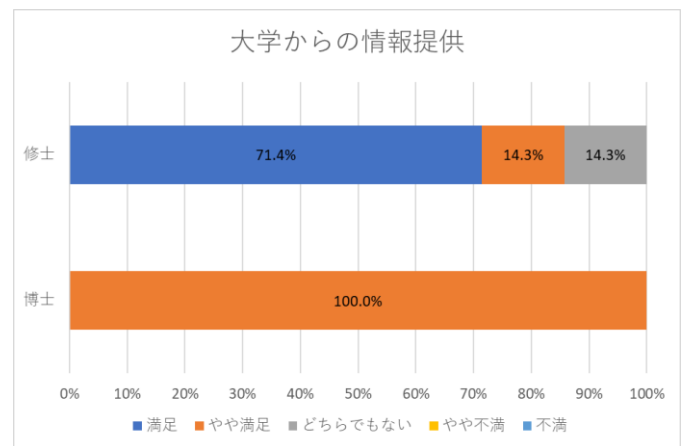
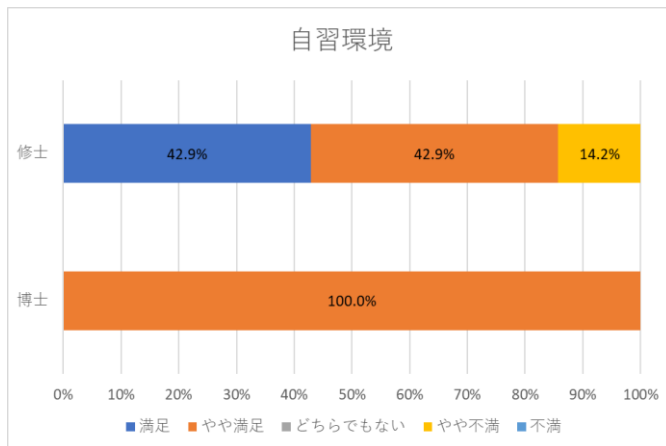
今回の調査では回答率が2～3割にとどまっており、一部学生の意見であることは否めない。満足度3以上を目指した項目について、修士において達成することができた。博士は利用そのものがなかった。全体的に、「大学からの情報提供」「自習環境」「図書館」の利用割合が高く、概ね満足度と利用しやすさも高い結果となった。一方、修士課程学生について「奨学金に関する相談」「キャリア支援」「健康相談」「メンタルヘルス相談」「ハラスメント相談」は約3割がとても利用し辛い回答した。「オフィスアワー制度」は大学院生においても利用割合、満足度、利用しやすさすべてにおいて課題となった。

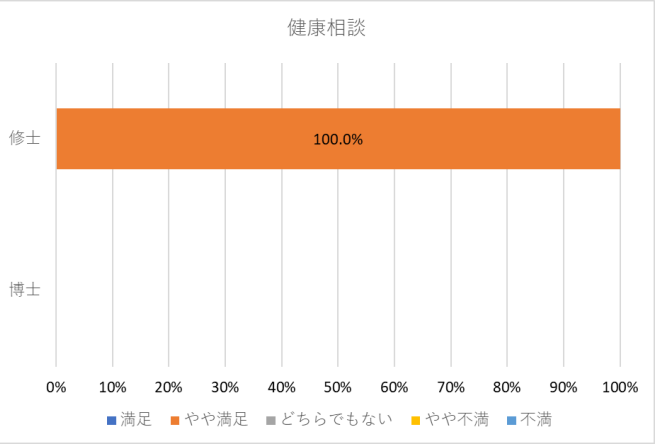
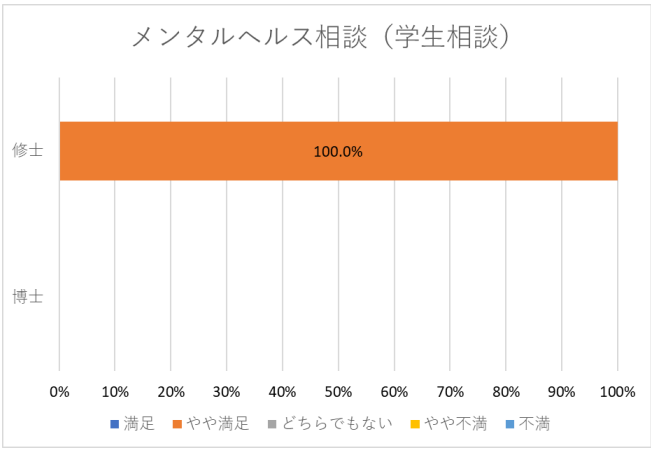
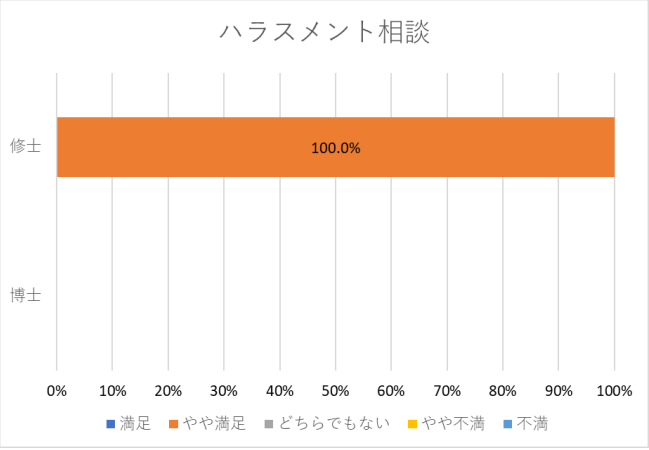
以上から、調査回答率の向上ならびに各種相談に関する大学院生の利便性の検討と大学院生向けの「オフィスアワー制度」を次年度の検討課題とする。

（2）明らかになった課題と対策

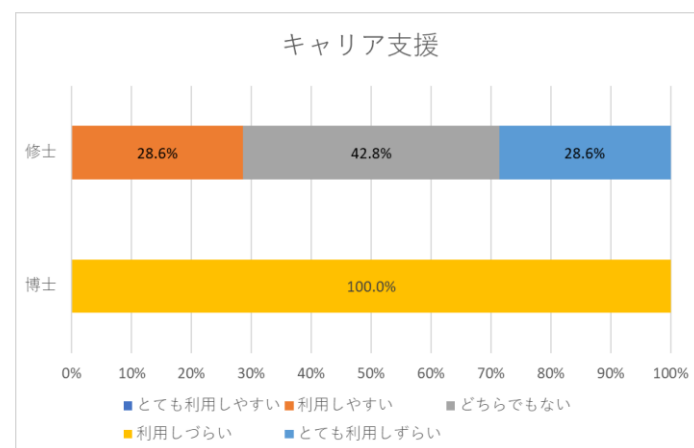
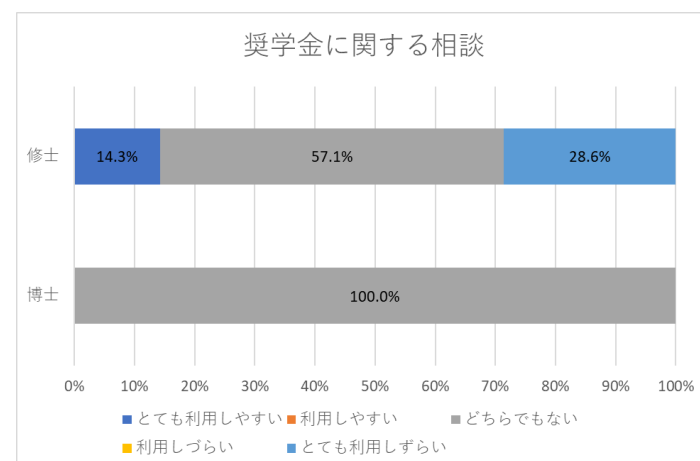
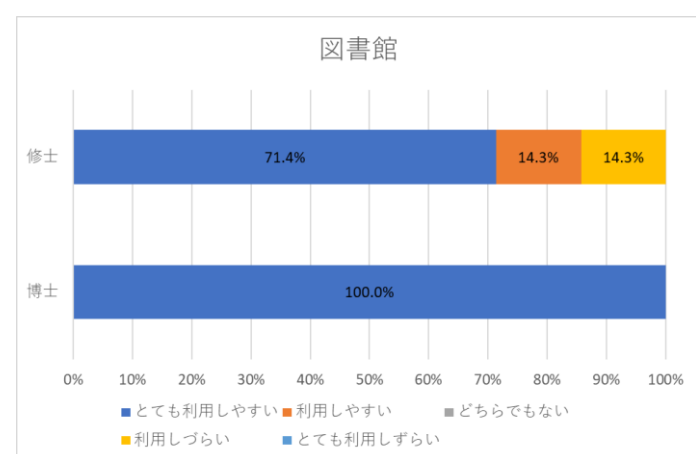
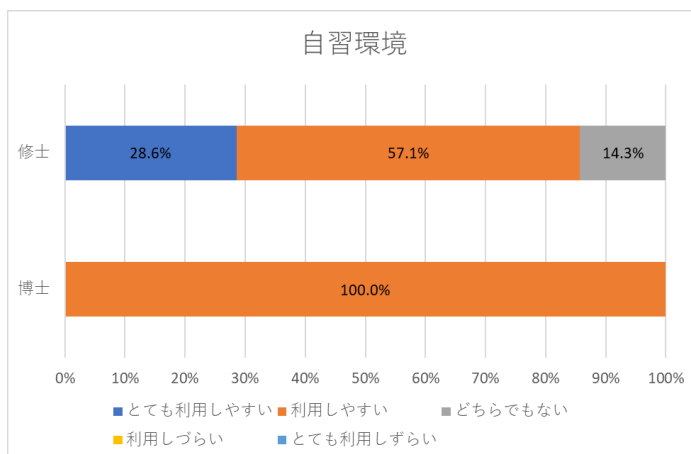
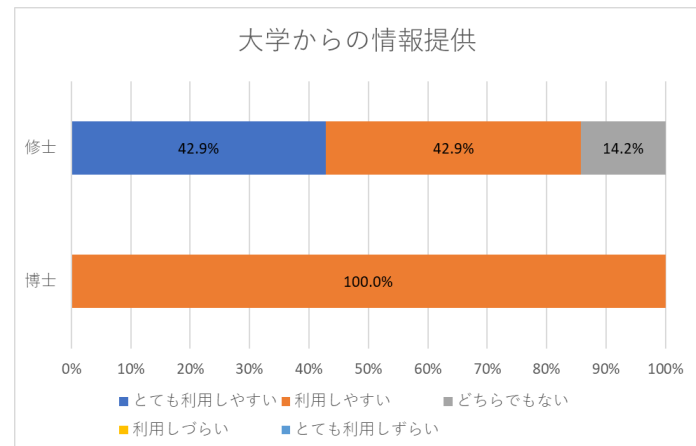
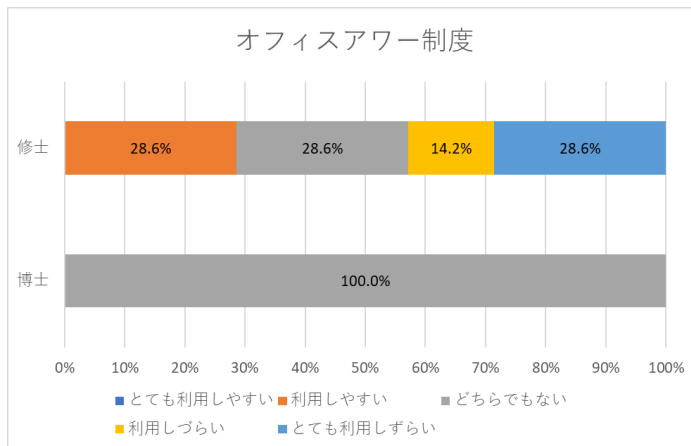


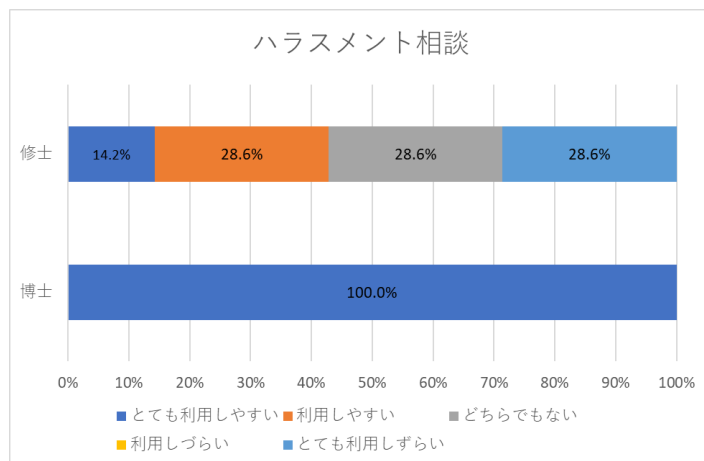
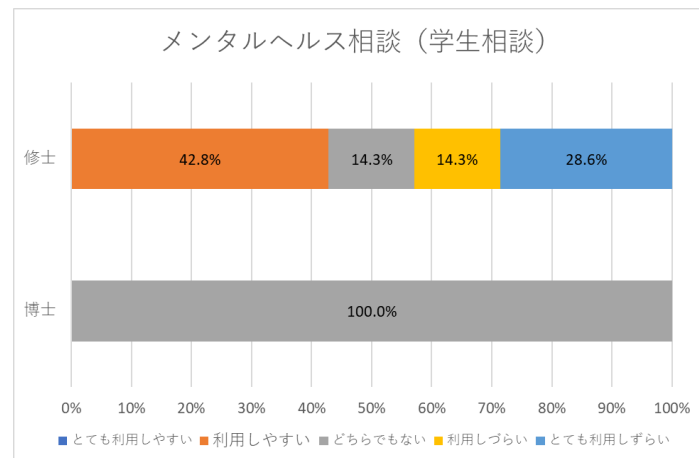
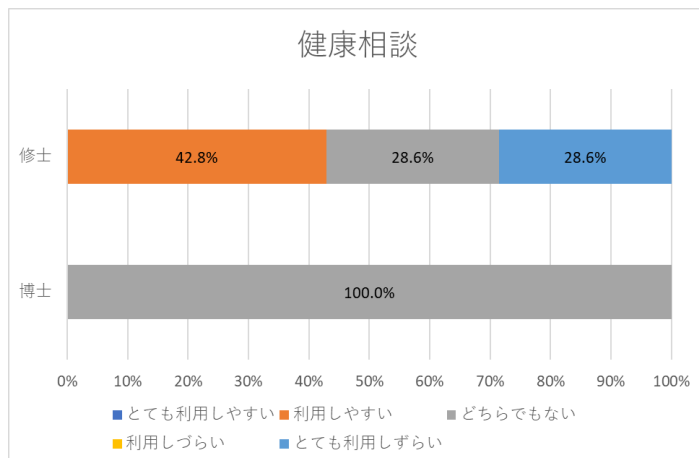
【大学院】利用満足度





【大学院】 利用しやすさ





（２）明らかになった課題と対策

キャンパスライフアンケートでは、大学に対する意見や要望を自由に記述してもらっている。寄せられた主な意見を元に、対応方法を検討した。

学生支援関係について

学生相談・キャリア支援をオンラインで実施する要望があった。オンラインでの実施も可能であるため、希望があればその都度相談してもらいたい。